

発刊にあたって

この度、根室市の水産業の現状を紹介する「令和4年度版 水産ねむろ」を発刊致しました。

当市は、北方海域の豊かな水産資源を背景に、北洋漁業の開拓とともに発展を遂げて参りましたが、度重なる国際漁業規制の強化等により、沖合漁業は縮小を余儀なくされてきました。

また、昨年においては、当市の大宗漁業である、サンマ漁やコンブ漁等の取扱いが依然として低調に推移したことに加え、それに追い打ちをかけるかのように、ウクライナ侵攻の影響などから、燃料費や資材価格等が高騰するなど、水産業を取り巻く環境は以前にも増し、大変厳しい状況にあります。サンマ漁においては、13年連続日本一の座を確保するとともに、沿岸漁業においては、カレイやタラなどの漁獲が好調に推移し、沖合漁業の減少分を補い、一定程度の原魚を確保することが出来ましたことに、改めて「水産都市・根室」の底力を強く実感したところであり、矜持の表れであると感じたところであります。

水産業は今、まさに、過渡期を迎えております。

国においては、水産資源の適切な管理と水産業の成長産業化の両立を目指し、水産政策の改革を進めております。

市と致しましては、こうした国の動向に決して乗り遅れることなく、「水産都市・根室」の将来を見据えたビジョンの中で、「つくり育てる漁業」の定着へ向けた各種増養殖事業に積極的に取り組むこととし、これまでのベニザケ養殖事業化へ向けた試験研究事業に加えて、本年は新たに、国内においても養殖事業の実績がある、海面を活用した「トラウトサーモン養殖」の早期事業化へ向けた実証試験にも着手致します。

こうした沿岸漁業の増大に向けた「つくり育てる漁業」の推進を積極的に後押しすることはもとより、当市の海域の特色を活かした新たな産業の創出に向けて取り組んで参ります。

本紙を通じて、当市水産業の現状をご理解いただき、今後とも当市水産業の発展に向け、お力添えを頂ければ幸いに存じます。

結びに、本紙作成に際し、ご協力頂いた関係団体の皆様に心より感謝申し上げます。

令和5年3月

根室市長 石垣雅敏

